

平成28年10月4日

北海道新聞

新米8.7ト全量1等

しずない農協で初出荷

【新ひだか】町内静内地区で作付けされた米の出荷が始まった。度重なる台風などの影響が懸念されたが、品質は上々で、関係者は胸をなで下ろしている。同地区では今年、農家36戸が102トに作付け。しずない農協の豊畑米検査場には9月29日、第1弾として「ななつぼし」8・7トが持ち込まれ、検査員が形や色、つや、水欠、タンパク質の含有量などを慎重にチェック。全量が1等と認定され、西村和夫組合長は「天候の影響が心配だったが、十分に良食味米として勝負できる数字が出た。自信を持って、農家が安定的



初出荷された米の品質を慎重に確認する検査員

に営業できる価格を目指したい」と話した。

新米は10月9日に同農協

で開かれる農業まつりを皮切りに販売される。このうち低農薬などの条件を満た

す特別栽培米はブランド「万馬券」として売り出す

(飯島秀明)